

# 「今」が未来をつくる

この小冊子「今が未来をつくる」は、学部学生ご父母のみなさまを対象として、  
明治大学及び父母会の情報をwebサイトとの連動性を高め提供するものです。



## 春だ！ Mスポ全力応援

2020年度 明治大学連合父母会 顧問  
(2019年度 明治大学連合父母会長)  
須藤 政弘

<https://www.meiji-parents.jp>

明治大学父母会



明治大学父母会

ご登録はお済みですか?

明治大学連合父母会  
公式LINEアカウント

#Mフボ

# 友だち 募集中!

## 父母会デジタル化チャレンジ ツナガルカタチ



@meiji\_fubo

明治大学連合父母会公式LINEアカウントは、明治大学父母に対し、明治大学や父母会ホームページ、広報紙誌を通じて発信された情報にたどり着くためのインデックス情報を中心にお届けします。各種問い合わせを受付回答するためのものではありません。

明治大学連合父母会

### TOPIX

## 本学の活動制限指針「レベル3」 防疫行動の徹底を

明治大学は1月8日、活動制限指針を「レベル2」から「レベル3」に引き上げました。

本学では、新型コロナウイルス感染症の拡大状況をレベル0から5までの6段階に分け、それぞれのレベルに応じた各活動の可能範囲を定めた明治大学活動制限指針を定めています。緊急事態宣言の発出を受け、本指針及びその取扱いが大学ホームページでお知らせしているとおりです。【2021年1月25日現在】

本学の活動制限指針「レベル3」は、「緊急事態宣言が発出されているが、大学への休校要請は出ていない状態。又は、緊急事態宣言は発出されていないがそれに準ずる状態」です。

活動制限指針「レベル3」における授業・教育活動は、「オンライン授業のみ実施」。研究活動は、「出張の原則中止。学会等の研究集会への参加及び主催の禁止。原則として在宅での研究とし、教育・研究の準備・継続に必要な場合のみ入構可」。学生の入構は、「原則入構自粛。大学が許可した一部施設のみ利用可」。課外活動は、「(体育会)原則活動禁止。大学が許可した一部活動のみ可。(サークル等活動)全面活動禁止」。窓口業務は、「原則メール又は電話での問い合わせのみ。窓口での相談、提出等は、事前に事務室の許可が得られた場合のみ」。施設貸出は、「貸出不可」。各種会議は、「可能な限りオンライン会議又は文書会議で実施」です。



<https://www.meiji.ac.jp/>



## INDEX

- 4 Mスポ全力応援できる日を心待ちに  
連合父母会顧問 須藤 政弘  
(2019年度 連合父母会長)
- 6 理科部連合会  
理科部連合会連合執行委員会委員長  
理工学部3年 吉原 扇吏さん
- 8 コロナの中でもできることから  
明大スポーツ新聞部  
商学部1年 出口千乃さん
- 9 シードには一歩及ばず  
「M」のタスキにこれからも全力声援!  
競走部 箱根駅伝
- 10 第60回STVカップスキージャンプ競技大会  
政治経済学部4年 丸山希 選手  
優勝おめでとう!
- 12 国際交流団体 キャンパスメイト  
キャンパスメイト代表  
商学部2年 岡本 一真さん
- 14 落語研究会  
総合数理学部2年 浅井 智樹さん  
情報コミュニケーション学部3年 金子和樹さん
- 16 就活準備は進んでいますか  
就職キャリア支援事務長 小林 宣子
- 18 オンライン父母交流会  
地区父母会紹介動画  
アクセスランキングTOP5

## Mスポ全力応援できる日を心待ちに

連合父母会顧問 須藤 政弘  
(2019年度 連合父母会長)



明治大学連合父母会顧問の須藤政弘です。

昨年度、2019年度の連合父母会長に就任させていただいたときに掲げた目標は、新しい感動の場づくりに、全国各地の父母会がスポーツの応援会が実施できるように情報収集し、それを全国に発信していくということでした。また、首都圏だけではなく日本全国に父母の感動の輪を広げること。メジャースポーツだけではなく多様な部活動へと感動の輪を広げること。これを結実させ、これにより多くの父母が「明治大学は第二の母校」と思えるようになること。これが私たちの目標で、前年に引き続き「この感動を地方に。全国に。Mスポ全力応援宣言！」を掲げさせていただきました。

掲げた目標の通りにラクロス部やワールドカップスキージャンプ、自転車部などに応援の輪を広げることができたことは思い出深く残りました。もちろん野球部、サッカー部、ラグビー部、箱根駅伝の予選会、本選などへの応援も各地区父母会の皆さんと楽しみました。また、海外父母会の活性化にも取り組み4か国中の3か国の父母会にお邪魔することが出来ました。

ところが新型コロナウイルスの感染拡大により、私の息子も参加する予定であった卒業式、さらに入学式の中止、また、それぞれに、新しい学年、2年生、3年生、4年生に進級された学生のみならず、大学に通うこと、新歓行事を行うこと、サー

クルなどの課外活動に取り組むことも、ままならない状態になってしまいました。

4月には7都府県への「緊急事態宣言」が発出され、新型コロナウイルス感染の拡大を食い止めるため、脅威に打ち克っていくための長い戦いが始まりました。

全国各地で5月から6月にかけて開催されるはずであった「父母会総会・懇談会」についても中止せざるを得ず、各地の父母会の皆さまとの懇親の場が奪われてしまいました。

しかしながらその中で、ビデオによるメッセージの発信やこの冊子のような紙面による活動にシフトを図り、連合父母会の執行部会、全国57地区と海外4地区の全国会長会議についてはZoomによるリモート会議にシフトし実施するなど、これまでにはなかった取り組みを行いました。

さらにリモートによる全国会長会議で選出された2020年度連合父母会執行部においては、これまでの主体であった「会」活動の自粛から、父母会活動の停滞をしないためにも、進歩の著しいデジタルツールを活用し「つながる」活動へと移行しております。Webにおけるセミナーであるウェビナーによる父母交流会。これまでは首都圏11地区が対象でありましたが、その対象を全国に広げるという効果も得られた就職懇談会など、例年とは異なる形で開催しています。



昨年1月のワールドカップ(札幌)大会の応援に駆け付けた時に丸山選手と

また、連合父母会では父母の間で急速に普及したLINEを活用した情報発信も始めました。大学の最新情報をご父母向けにお届け、スマートフォンにてご確認いただけるものです。おひとりでも多くの皆さまのご登録をお願いいたします。

本年は明治大学が創立140周年という記念すべき年であります。私も創立140周年事業実行委員会に参加させていただいており、事業規模を縮小しながらも記念式典なども計画され、和泉キャンパスに新教育棟の建築が進むなど前向きな事業も進んでいます。

年明け早々に札幌の大倉山ジャンプ競技場で、体育会スキー部の丸山希さん(政治経済学部4年生)が、国内戦で優勝するところをテレビで観ることが出来ました。昨年1月11日、完成したばかりの新国立競技場で、大学ラグビー日本一を決める決勝戦が行われ、私と連合父母会執行部の皆さんで明治対早稲田の決勝戦を応援したその足で、東日本スポーツ担当であった吉永副会長と札幌に飛びました。翌日北海道札幌地区の畑会長と待ち合わせし、FIS女子スキージャンプのワールドカップ第5戦ラージヒルの観戦に大倉山ジャンプ競技場に行ったのです。日本勢では4人の選手が

決勝に進み、私たちは旗を振って丸山選手を応援しました。表彰式を遠くに眺めながら帰途に就こうとしていたころ、思わぬハプニングがありました。紫紺の連合父母会旗に気づいてくれた丸山選手がわざわざ挨拶に来て下さったのです。

テレビを観ていて1年前のその思い出と同時に、1年経って優勝する選手に成長した丸山選手を観て、スポーツは学生たちを成長させ、我々に感動を与えてくれることを改めて強く感じさせてくれました。立派な日本のエースに成長された丸山希選手、優勝おめでとう！

【10頁に関連記事を掲載】

一日も早い感染症の収束を願いながら、私自身も本年ならではの事業に参加させていただきたいと考えています。また「この感動を地方に。全国に。Mスポ全力応援宣言！」を掲げ、皆さんと肩を組んで明治大学校歌を歌える日が早く来ることを祈念しております。

[https://www.meiji-parents.jp/activity/area06/union/20200117\\_2.html](https://www.meiji-parents.jp/activity/area06/union/20200117_2.html)



# 理科部連合会

理科部連合会連合執行委員会委員長

理工学部3年

吉原 扇吏(よしはら・あおり)さん (神奈川県)



## 理科部連合会とは

理科部連合会には、明治大学公認の理科系17サークルが加盟しています。それぞれのサークルは大きく分けて3つに分類することができ、内訳は農系7サークル・理工系8サークル・これら2つに分類されない他2サークルとなっています。

理科部連合会本部は正式呼称を理科部連合会連合執行委員会といい、理科部連合会の最高執行機関です。特別連合執行委員(通称:役員)と、各加盟サークルから選出された本部員から構成されています。

主に、理科系サークルの統括、理科系のサークルが行事に参加する際のサポート、それぞれのサークル間やサークルと学校との連携を取るサポート、父母会などの協力団体様からの助成金の割り振りなどをさせていただいております。

## 理科部連合会本部の具体的な活動について

理科部連合会では春と秋の年2回、「総会」を行っています。ここでは、各サークルの活動報告や会計報告を行い、理科部連合会加盟サークルの活動について共有し合うほか、各サークルから募集した議題について話し合います。

また、例年11月に開催される「生明祭」では、各サークルの展示の警備巡回や、スタンプラリーなどのイベントの企画をしております。

「理科サークルフェスタ(通称:理科フェス)」では、他大学との共同展示や各種大会を通じて、外部との連携や技術交流も行っております。

「リーダースキャンピング」では、議題について話し合ったり、各サークルの三役(幹事長・副幹事長・会計)に加えて他大学からの来賓や先生方をお招きし、懇親会でサークル間の親睦を深めたりしております。

この他にも、本部員によるサークル間交流を主な目的とした「本部員合宿」も行っております。

## 新委員長としての抱負

新型コロナウイルスの影響により、様々な行事が中止またはオンラインでの開催となりました。私は例年の対面での行事からの今への変化の中で、特に残念に感じている変化が一つあります。それは「人のつながり」です。

私たち理科部連合会は、先輩や後輩、先生方、OB・OGの方々などの人とのつながりに、様々な

ことを学ばせていただき、助けられています。そういった方々と密に接する機会が減ってしまいました。私の委員長の名刺も、ほとんど使うことなく役目を終えてしまうかもしれません。何を開催させていただくにしても、オンライン開催では、直接の対面での開催より得られるものが少ないように感じてしまいます。

私はこの変化をできるだけゼロに近づけたいと思っています。この状況下でも様々な「人のつながり」を途切らせることなく、新型コロナウイルス収束後の理科部連合会がこれまで以上に活発、円滑に運営できるよう役員一同と共に、様々な方のご協力を頂きながら精進して参ります。よろしくお願い致します。

新型コロナウイルスの影響により、対面での会議や行事を開催することができなくなってしまったため、月1回のオンライン会議にて連絡を取り合うなど試行錯誤して活動しております。2020年度秋季総会はオンラインで開催しました。初の試みであったため苦戦することも多々ありましたが、役員同士で協力し合うことで無事に終わることができました。

今後も、理科部連合会加盟サークルの活動が円滑に進むよう尽力いたしますので、よろしくお願い致します。



# コロナの中でもできることから

明大スポーツ新聞部

商学部1年

出口千乃(でぐち・ゆきの)さん (神奈川県)



新しい環境、新しい友達、これから始まる大学生活を楽しみに胸を躍らせた春。それもむなしく始まった自粛期間とオンラインでの大学生活。「何か新しいことを始めたい!」という気持ちは空回りするばかり。会う人、話す人みんなに「大学行けなくて可哀そうだね」。そう声を掛けられるたびに余計に悲しい、寂しい、悔しいといった感情が取り巻く、そんな日々でした。

それでもこのまま待っていても何も始まらない。せっかくの大学生活なのだから自分から何か行動を起こしてみよう。コロナでもできることはあるはずだ! そう思い立ち部活・サークルを探し始めました。そんな時に出会ったのが現在、私が所属する「明大スポーツ新聞部」です。沿道が家から車で30分ほどの場所にあり、小さい頃から応援しているうちに箱根駅伝が好きになっていました。

そんな箱根駅伝の出場校である明大を自分の学校として応援できたら楽しいだろうなという軽い気持ちから明大を進学先を選びました。しかし明大スポーツ新聞部に入ったことで、ただ応援するだけ



昨年末(12/19)には、「箱根駅伝 間もなく号砲レポート」を八幡山グラウンドからお届けしました

でなく、取材をし、記事にすることも箱根駅伝を、明大競走部を応援できています。まさかこのような形で好きなことに携われるとは思っていませんでしたので本当にうれしく思っています。

実際に活動が始まると現地での駅伝観戦ができない、Zoomや電話での取材がほとんどであるなど新型コロナウイルス対策のために活動が制限されることもあります。それでも活動の中で先輩、同期を含めた部員同士のやり取りやオンライン上ではあっても選手と会話をすることで人のつながりの大切さを感じられます。オンライン授業下ではなかなかクラスの人たちと交流することができない私にとって所属できるコミュニティがあることはかなり大きかったです。恐らく何にも所属していなかったら「孤独」、この言葉に尽きる大学1年目になっていたかもしれません。

もうすぐ大学1年生も終わります。この一年間を振り返ると楽しいこと、悲しいこと、新しいことなど本当に多くを経験できました。今まで誰も経験したことが無い大学生活。その中でいかに充実させられるかは自分がどれだけ動けるか(物理的という意味ではありません)だと痛感しました。この行動力は何をするにも役立つ力ではあると思います。やりたいことはやってみる。この行動力とともに、今の状況をあまり悲観しすぎずにこれからの大学生活を送りたいです。

<https://www.youtube.com/watch?v=zAKda2LSyag>



# シードには一歩及ばず 「M」のタスキにこれからも全力声援!

箱根駅伝の復路1月3日、テレビ中継にあわせて、「復路を応援しよう。頑張れ明治! みんなで頑張ろう! ライブ中継」と銘打って、明治大学競走部合宿所から同部の専用YouTubeチャンネルを使って応援会と報告会が配信された。



[https://www.youtube.com/channel/UCIj7WEfDPitNww4GxlbU5\\_A](https://www.youtube.com/channel/UCIj7WEfDPitNww4GxlbU5_A)



レポーターを務めた明大スポーツ新聞部の金内英大さん(かなうち・ひでひろ、情コミ2)



八幡山グラウンドに駆け付けてくれた応援団。  
左から池嶋菜さん(いけしま・しおり、政経3)、横川樹来さん(よこかわ・じゅらい、情コミ3)、岸本粋花さん(きしもと・さいか、理工3)

父母会はこの初の試みをサポート。明大スポーツ新聞部、明治大学体育会応援団も駆け付けて協力した。

配信は2部構成で、10時からの第1部は、箱根駅伝を走った選手、スタッフへのインタビューなど。第2部「報告会」15時30分では、中川秀一郎長、園原健弘監督、山本佑樹駅伝監督からお礼の言葉などが述べられた。

2024年「箱根駅伝」第100回大会での優勝を目標に掲げる明治大学競走部。連合父母会も同年に創立50周年を迎える縁を大切に、これからも「この感動を地方へ。全国へ。Mスポ全力応援宣言!」を掲げ、予選会からの全力応援で巻き返しを後押しする。

# 優勝おめでとう!

丸山 希(まるやま・のぞみ) 選手 政治経済学部4年、長野県出身



STV杯 女子組で2回目に136mを飛び優勝する丸山希 2021年1月10日

## 国際交流団体 キャンパスメイト

キャンパスメイト代表

商学部2年

岡本 一真(おかもと・かずま)さん (神奈川県)



キャンパスメイトを一言で説明するならば、「国際交流を活動内容とした、明治大学公認の学生団体」といったところでしょうか。

私たちは、国際教育事務局と連携し、明治大学で勉強している世界中からの留学生のサポートや、彼らと日本人在学生が交流できる機会を企画・運営することを主に、様々な活動を行っています。

### 例年の活動内容

キャンパスメイトの活動は、新一年生を会員に迎え新たな一年を迎えます。そして最初の活動は、「受け入れボランティア」と呼ばれる、留学生の住民登録等のお手伝いから始まります。日本に来たばかりの留学生と最初に出会う明治大学生になれるのが「受け入れボランティア」の魅力。新生活のサポートを通じて仲良くなった留学生とは、その後も交流が続きます。

「CMday」と呼ばれる国際交流イベントを企画・運営するのもキャンパスメイトの活動です。「CMday」は、隔週で授業後に和泉キャンパスにある国際交流ラウンジで開催される、明治大学の留学生と在学生在であれば誰もが参加できる国際交流イベントです。1月には餅つき、7月には七夕など、日本の年中行事を取り入れたイベントや、ハロウィンパーティーやクリスマスパーティー。ほかにも、お箸で小豆を運ぶミニゲームや、世界の音楽でイントロクイズなど、毎回楽しいイベントを行っています。

「CMday」に加え、月に一度はキャンパスから飛び出してのイベントも企画します。一例を挙げ

ると2019年度には、桜の季節にはお花見をして、鎌倉や築地といった観光名所に出かけたり、野球観戦にも行きました。

そして秋学期に再び留学生を迎え、冬には一大イベント「スピーチコンテスト」を迎えます。例年、留学生が決められたテーマに応じて日本語のスピーチを披露する「スピーチコンテスト」。キャンパスメイトは、事前の準備や参加する留学生のサポート、そして当日の運営を行います。

キャンパスメイトの活動は、ボランティアやイベントの企画・運営を主としていますが、私たち自身もイベントに参加するという形式をとっているため、一方的に楽しんでもらうのではなく、一緒に楽しみながら活動ができるのが魅力です。

### オンラインでの活動

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でキャンパスメイトの活動も対面での実施が厳しい状況となり、オンラインで活動を行いました。本来日本に留学する予定だった海外の学生や国際交流を希望する学生をオンラインで繋ぐため、Zoomを利用した学内外向けのオンライン国際



交流イベントを企画・運営したり、スピーチコンテストがライブ配信での開催になったりと、新たな取り組みばかりの一年となりました。

10月と12月に2回開催したオンライン国際交流会には、20名ほどの海外からの学生に加え、多くの日本人在学生が参加しました。少人数ごとのグループに分かれて自己紹介から始まった交流会は、対面でのイベントとは異なり、通信の問題や表情の伝わりづらさ等慣れないことも多く、最初はどこかぎこちない様子でした。しかし、コロナ禍での境遇や趣味、故郷などの話に花が咲き、次第に打ち解けることが出来ました。一緒にゲームをしたり、基本的には日本語での交流となりましたが、グループによっては英語、さらには中国語等の言語で盛り上がる場所もありました。

来日予定の留学生が来られなくなってしまったりと残念なこともありましたが、オンラインだからこそ、世界中にいる学生と交流するという、有意義な活動を行うことができました。

### オンラインでのスピーチコンテスト

そして、毎年冬に開催しているスピーチコンテストも、今年度はオンラインでの開催となりました。参加する留学生たちには事前にスピーチを録画してもらい、それをYouTubeのリアルタイム機能で配信しながら進行されたスピーチコンテスト。対面での開催とは異なり、視聴者が気軽にチャット機能を利用してコメントを送れるなど、物理的な距離はある一方で、より近い距離感で楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

今年度は新たな試みとして、スピーチコンテスト後にはアフタートークの配信も行いました。スピーカーの留学生に加え、スピーチの作成や練習をサポートしていたアドバイザーの学生たちにも参加していただき、スピーチコンテストまでの裏話や、留学生たちの趣味のお話まで、興味深いことをたくさん聞くことができました。スピーチと違って原稿がない場面でも、流暢な日本語で受け答えをする留学生の日本語力に感動したことを覚えています。

### 最後に…

今年度は皆さんにも私たちにも異例な1年になりました。しかし、1年を通してオンラインでも留学生たちに楽しんでもらえるイベントができる手ごたえをしっかりと感じられました。

今後もグローバルな活動が制限された日々が続くと予想されますが、キャンパスメイトとしては、世界に視野を広げる学生の力となり、我々自身も国際交流を楽しんでいく所存です。そして明治大学を代表する国際交流団体としてオンライン、オフラインなどいかなる状況下においても先導できる存在となっていけるよう頑張っていきたいと思っております。



## ちっす！ 明治大学落語研究会2年、 中野家登三治です

中野家登三治 こと  
総合数理学部2年  
浅井 智樹(あさい・ともき)さん (東京都)



……というのが我々の落研に伝わる挨拶の作法です。1年生の頃、訳もわからぬまま望まぬ「ちっす！」を強いられました。それ以来、「いつ・誰が・なぜ」始めたのか分からないままに使っていますが、不思議なもので、今ではこれがないと落ち着いて話が始められないほどに馴染んでしまいました。父母交流会では毎年落研の寄席を設けて頂いていますが、やはりずっと続いてきたものが途絶えるというのは落ち着きませんから、今年も開いて頂けたのは有難いことです。そのご厚意に応えねばという責任感を胸に秘め、舞台へ赴いたという次第でございます。

ここからは、座布団の上で私が感じていたことや考えていたことをお伝えしようと思います。傍から見た様子はYouTubeに動画がありますので、よろしければそちらも合わせてご覧になって、実況解説としてお楽しみ下さい。

まず、無観客配信であることに驚きました。「コロナ禍でも、なんとかちゃんとした舞台でやる」という風な話を先輩から聞いていましたから、鏡に向かってばかり落語をやって、すっかり参っていた私は「徐々に人間に向かって話せるぞ」と早とちりをしました。実際には自分が映るものがカメラに変わっただけのことで、それでもコロナが感染するよりはマシかと諦めて漸に移りました。

これまでの高座ではお客様の顔色を伺いながら漸を進めていました。ウケた時は調子づいてネタを足して、それが滑って大人しくなるといった具合に。言葉は交わさずとも、客席との対話で以

て一席を作ると心得てやっていた。しかし、今回はそれが無い。昔はカメラに魂を抜かれるなどという言い伝えがあったそうですがこれがあながち出鱈目でもなくて、どんなカメラでも向けられると体がこわばって思うように動かなくなったり、あるいは勝手に動いたりするものです。今回の場合も正直なところかなり緊張しましたが、何とか立て直していくらか落ち着いた心持ちで本題に入ることができた…つもりです。

後半、私は新たな悩みを抱えていました。会場が乾燥していたのです。慣れない会場でしかも無観客、加減の分からない私は一生懸命に声を張り、喉を嚙らしてしまいました。この渴きを誰とも共有できない私は、人知れず苦しんでいました。今回の『狸賽』はサゲの直前で博徒たちが揉める場面がありますが、喉が痛くてそれどころじゃない私は「何を下らないことでケンカしてんだ」と苛立ちを禁じ得ませんでした。

終始コロナウィルス騒動に係る特殊な状況に翻弄されたわけですが、なかなか面白い体験をさせて貰いました。立派な機材でテレビみたいに撮って頂ける機会なんてそうは無いですからね。父母会連携事務室や撮影スタッフの方々、そして配信を観て下さったお客様に深謝申し上げます。世間はまだ当分コロナウィルスへの対処を強いられるでしょう。確かに以前より活動は制限されていますが、日常の小さな幸せを全力で楽しんで、笑って果報を待ちましょう！

## 自宅でもリアルでも、 落語聴いてみませんか？

落語研究会幹事長 21代目紫紺亭角生 こと  
情報コミュニケーション学部3年  
金子和樹(かねこ・かずき)さん (東京都)



続きまして出てまいりましたのが、紫紺亭角生(かくしょう)と申しまして…などと、実際の公演では出演者が入れ代わり立ち代わり出てまいります。私は今回の公演には出演しませんでした。この場を借りまして、落語研究会の代表としてご挨拶を申し上げたく思います。

さて、落語研究会ではこれまで年間80件程度のご依頼を頂き、都内近郊から場合によっては北海道、九州にも赴くような活動を行ってまいりました。ところがこのご時世で全ての公演が中止。11月下旬に何とか活動再開にこぎつけたという中で、今回のオンライン配信のお誘いは千載一遇のチャンスとなりました。…とはいうものの、無観客配信というのは明大落研史上初の取り組み。お祭りの露店が目の前に出ている道の上に、座布団を敷いて落語をやったこともあります。それでもお客様はいらっしゃいました。さて、何の反応もない中でどうなるだろうかと考えていたものの、先

に登三治くんが申した通りの成功(?)を収めたわけでありませぬ。

オンライン配信の良いところは、後からでもその様子を見られることでしょうか。ぜひ今からでも公演をご覧になっていただきたく思います。ただ、そうはいつても、やはり落語に限らず、舞台上で行われることは生で見ていただけるのが一番でございます。我々落語研究会、おめでたい会だから、なんとなく見てみたいからという、どのようなご希望でも馳せ参じます。配信を見て、いいなと思っていただけただけの際には、公演が出来るようになったときに、是非お呼び頂ければと思います。

また、何かと不自由な生活が続き、心の余裕が無くなっていく中で、落語のようなくだらない、不要不急の塊のようなことに必死で取り組む我々の姿を見て、「しょうもないな」と笑っていただければ幸いです。





# 就活準備は進んでいますか

就職キャリア支援事務長 小林 宣子



3月1日までは、「エントリーシート」や「面接」で問われる「自己PR」「学生時代に力を入れたこと(学チカ)」「志望動機」をまとめておくことが理想です。

自分自身と向き合うことでどんなことに興味があるか、過去から現在に至るまでどんな考えを持って行動してきたか。そして今後、社会でどのようにがんばりたいかといったことが見えてくるはず。その上で業界・企業について調べることも必要です。学生は、身近な商品やコマーシャル等で知る企業を志望しがちです。しかし、世の中には、知名度は低くてもその業界ではトップシェアを誇っている等優良企業が数多くあります。志望業界に固執し過ぎないよう柔軟な思考を持ち、より多くの企業と接点をもつことを薦めています。

政府の指針では、2021年度(2022年3月)卒業・修了予定の学生を対象にした企業・団体の採用活動は2020年度と同じく3月1日広報開始、6月1日採用選考開始となります。

しかし、すべての企業がこの日程に従っているわけではありません。外資系企業や情報通信業界の選考は早くから行われています。また、インターンシップに参加した学生に対して、早期選考を進めている企業も増加しています。

2月は、1日仕事体験(1dayインターンシップ)としてグループワークや説明会を実施する企業が多いのも特徴です。

政府からの指針を守っている企業の内、大手企

業を中心に3月中旬～下旬までに「エントリーシート」の提出締切を設定する企業も増えてきています。また、WEB等での筆記試験を課す企業もあり、就職活動が本格的に動き出します。

新型コロナウイルスの収束が見通せない状況の中、昨年と同様にオンラインでの「企業説明会」「面接」が主流となりますが、最終面接のみ対面といった考えの企業も多いようです。

「エントリーシート」や「面接」は企業・団体に対して自身のことを知ってもらう機会です。初対面である読み手や面接官を意識してまとめることが重要です。

就職キャリア支援センターでは、まとめた内容について他者に伝えてみることを薦めています。自分のことは自分が一番理解できていると考えがちですが、他者と話すことで新たな自分のよさを発見できることがあります。

1月以降、就職キャリア支援センターの相談では、「エントリーシートのチェック」「面接準備・模擬面接」といった内容で申込み学生が増えてきました。相談で指摘されたことをブラッシュアップし何度も相談を利用する学生もいます。もちろん、「進路・就職相談全般」の相談に来る学生も多く見受けられます。コロナ禍での就職活動となり、友達や先輩たちに直接会う時間が取れず孤独な就職活動に陥りがちです。就職キャリア支援センターを身近な存在として利用してもらうことを願っています。

## 明大生の就活 支援・相談・資料のすべてがM-Career

就職キャリア支援センターの行事:情報検索(業界研究の仕方・自己分析・Uターン情報等・求人票)・相談予約等



### 明大最大規模”750社以上が参加する”オンライン交流会

情報収集に留まらない。双方向でのコミュニケーションを実現するイベント！  
1月16日を皮切りに2月に6日間・3月に8日間開催！（2022年3月卒業予定対象）

次回2/4・5開催！全750社以上による合同企業オンライン交流会～明大最大規模のイベント～

【開催日時】  
次回は2月4日(木)・5日(金)となります。  
各日 9時30分～16時40分(終日全6チーム、好きな所だけ参加可能！)  
※企業が皆さんに会いたいタイミングでの開催となります。そのため、時期が遅くなるほど参加企業数は減っていきます…  
2月開催日：9日(火)・10日(水)・18日(木)・19日(金)  
3月開催日：4日(木)・5日(金)・11日(木)・12日(金)・22日(月)・23日(火)・29日(月)・30日(火)

【参加企業ラインナップ】  
リンク先のページ内で検索機能(「Ctrl+キー」+「F+キー」)を善用しながら、是非、気になる企業をたくさん見つけて下さい！  
※交流会当日の詳細は、順次公開します。  
・2月4日参加企業一覧 ※土木建設係、新富士通ソリューションズラボは不参加となりました。  
>タイムテーブル キーワード有り / 無し  
・2月5日参加企業一覧  
>タイムテーブル キーワード有り / 無し  
---過去開催分---  
・1月16日参加企業一覧  
>タイムテーブル キーワード有り / 無し

M-Career トップ画面



## オンライン父母交流会 地区父母会紹介動画 アクセスランキングTOP 5

昨年11月29日から12月19日まで開催された  
オンライン父母交流会では、各地区父母会の自作紹介動画を公開。  
アクセスランキングTOP 5をご紹介します。



### 1 茨城県 (会員数531名)

会長のピアノ伴奏で「茨城県民の歌」を高らかに歌いながらの地区紹介。  
茨城愛そして明治愛に溢れています。



キャンパス見学・黒川農場見学  
など、和気あいあいと活動して  
きました。現在は、コロナのため  
Zoomで少しでも親睦を深めよ  
うと頑張っています。筑波山・霞  
ヶ浦・偕楽園・袋田の滝・水戸黄門・  
納豆・メロン・レンコン・・・名所、  
名物がたくさん。やっぱり茨城が  
No.1でも知名度42位(笑)。

### 2 神奈川県東部地区 (会員数4,627名)



開港都市横浜、古都鎌倉など魅力あふれる  
我が地区には生田キャンパスもあり、  
会員数は世界No.1! もちろん、学生を  
応援する思いも、明治愛もNo.1! オンライ  
ンでも心をひとつに楽しく活動していま  
す。やっぱり、神奈川県東部はNo.1!

### 3 京都府 (会員数76名)



古い神社仏閣が多くみられ伝統文化を重んじる  
反面、最先端技術を駆使した世界的企業やノーベ  
ル賞受賞者を多く輩出する等新たな研究開発に  
おいても優れ、新旧が共栄し発展し続けている魅  
力的な土地です。どうぞおこしやす。

### 4 東京都多摩地区 (会員数2,835名)



西武、中央、京王、小田急の各路線から神宮外苑や駿河台に  
集って「おおお明治り」と飛沫を飛ばし合う「多摩地区父  
母会の日常」が一日も早く戻ってくることを願いつつ、この  
歳になって・・・?と戸惑いながらデジタルと格闘しています。

### 5 岐阜県 (会員数156名)



今年の大河ドラマ『麒麟がくる』の舞台岐阜です。岐阜とい  
えば「飛騨高山」「白川郷」「長良川鵜飼」が有名ですが、松尾  
芭蕉『奥の細道』むすびの地である大垣や、栗きんとん発祥  
の地とされる中津川、天下分け目の戦いから420年の関ヶ  
原も岐阜県です。この動画で岐阜をお楽しみください。

### 5 東京都南部地区 (会員数1,080名)



都内在住の地の利を生かして、学生さんたちの活動を  
応援すべく色々と足を運んでいます。現在はコロナ禍でイ  
ベント等の活動は自粛中ですが、WEB等を通じて父母間  
の交流を図っています。でも、早く皆さんに会いたい!!

### 5 神奈川県西部地区 (会員数1,765名)



湘南の海と丹沢の山々、遠くには富士山を望む穏やかな  
環境ですが、学生たちの大切な活動を熱く応援してい  
きます! ♪白雲な〜びく〜♪「第二の母校」の校歌をぜひ  
一緒に歌いましょう!

応援しています

## 校歌誕生100年プロジェクト



### 明治大学校歌

児玉花外 作詞  
山田耕筰 作曲

Tempo di marcia ben marcato (♩=112)

しーらくもなびくーすーるーがだいまー  
ゆひいでたるーわーこーうどがつくやじだ  
いーのあーけーのーかねぶんかのうし  
おーみーちーびきてとげしいしんのはー  
えーになうーめいじそのなぞわれらーがほこ  
うーめいじそのなぞわれらーがほこ

白雲なびく駿河台  
眉秀でたる若人が  
撞くや時代の暁の鐘  
文化の潮みちびきて  
遂げし維新の栄になふ  
明治その名ぞ吾等が母校  
権利自由の揺籃の  
歴史は古く今もなほ  
強き光に輝けり  
独立自治の旗驍し  
高き理想の道を行く  
我等が健児の意気をば知るや  
我等が健児の意気をば知るや  
霊峰不二を仰ぎつつ  
刻苦研鑽他念なき  
我等に燃ゆる希望あり  
いでや東亜の一角に  
時代の夢を破るべく  
正義の鐘を打ちて鳴らさむ  
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

### 「山田耕筰自筆譜」クリアフォルダー

本学図書館所蔵「明治大学校歌」作曲者、山田耕筰の自筆譜がデザインされた見開き型のクリアフォルダーが明治大学資料センターによって制作された。博物館内限定頒布で税込150円。自筆譜に基づく推定歌詞や再現映像「明治大学校歌の原型を聴く」(守屋健太郎監督)のQRコードなども掲載。

明治大学博物館「ミュージアムショップM2」で販売中  
<https://www.meiji.ac.jp/museum/shop/shop.html>

